

・境内一斉清掃

8月5日午前7時30分より
毎年恒例のお盆前境内清掃を行います。
午前10時頃には清掃を終了し、その後
生駒家四代正室「秋月院」様のお墓と
「無縫塔」にもお参りします。

各種お知らせ

・花園流ご詠歌のご紹介



先日、西宝町のミューズホールで花
園流ご詠歌無相教会の四国東西教区合
同講習会が開催さ
れました。県内寺
院にはご詠歌支部
がありませんが、
興味がある方、や
ってみたい方がい
らっしゃれば気軽
に御連絡下さい。

・住職近況

従来ご参加頂いていた方々も段々と
高齢化し、花園会員の参加者も減少し
ております。お忙しい事とは存じませ
が、まだ参加したことの無い方、特に
若い現役世代の皆さまには、是非ご協
力頂きますよう宜しくお願い致します。
なお軍手や清掃道具はお寺で用意し
ているほか、掃除中の水分補給や清掃
後の軽食も準備してありますが、熱中症
等体調管理はご自身でご留意下さい。

6月1日より高松刑務所の教誨師に
委嘱されました。現在高松刑務所には
仏教、神道、キリスト教、新宗教など
から12名の教誨師が在籍しています。

實相寺 花園會報

平成三十年
七月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園会
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL.087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<http://www.jissouji.net>

第112号

「雨收まって山岳青し」
あめおとせ さんかくあお

筆 元妙心寺管長 梶浦逸外老大師
(明治二十九年〜昭和五十六年)



今年は関東甲信越地方が早くから
梅雨明したと報道されましたが、そ
の後に台風や各地で大雨が続いてい
ます。被害に遭われた方々には心よ
りお見舞い申し上げますが、雨が降
らないとまた渇水になります。
そう思うと私達の平穩無事な生活
は、本当に微妙なバランスの上に成
り立っていることを痛感します。
あたりまえの有り難さを、今一度
考えてみたいと思います。

「信」何を信じるのか①

今年から秋の特別布教にも別のテーマが設けられることとなりました。本年度は「信 何を信じるか」です。

「信じる者は救われる」という聖書由来の言葉もあるように、様々な宗教の基本が「信」であることは言うまでもありません。仏教でも『華嚴経』に「信は道の元にして功德の母なり」とあります。

しかし浄土真宗が阿弥陀仏による救済、極楽浄土への往生を信じるのに対して、また真言宗が現世利益を信じて加持祈祷するのに対して、禅宗ではあまり「○○を信じなさい」とは説きません。むしろ昔から「大疑なくんば大悟なし」とも言われ、教えを鵜呑みにするのではなく、

自分自身で冷暖自知しなさいというのが禅宗です。

またキリスト教や浄土教のように自分の外にある神や仏を信仰するのではなく、「衆生本来仏なり」と自分の内にある仏心・仏性を信心するのが禅宗です。結果「信」ということが疎かになる傾向があります。そこで「臨濟宗ではいったい何を信じるのか？」を明確にする為にこのテーマが設けられたようです。結論をいえば、先にも述べたように禅宗は自心仏であることとを信じるのですが、そのことについてしばらく述べていきたいと思えます。

お釈迦様は人々の悩みに応じて教えを説かれました。その結果、様々な經典が出来た訳ですが、六世紀以降の中国では、

それまでバラバラに伝わってきた膨大な經典を整理する為に、經典の優劣や種類を分類する運動が起こりました。これを教相判釈きょうさうはんしゃくといいます。有名なのは天台大師智顛てんだいだいしちゅうてんという人が説いた五時八教説で、日蓮が『法華経』が最も優れた教えと説いた根拠もこれですし、末法時代、劣った凡夫は自力では悟れないので阿弥陀仏の本願を信仰すべきである、という浄土教の主張も教相判釈から生まれました。

しかし經典に関する学問的探究は四度にわたる廃仏によって衰えます。そしてその後、盛んになった禅宗は「經典に説かれた教えは月を指す指のようなもので月そのものではない」「大切なのはお釈迦様の言葉ではなく心である。心は文字言

句で伝わるのではなく(教外別伝・不立文字)、心から心に直接伝わるのだ(以心伝心)、「ということを主張しました。ですから禅宗以外の宗派を「仏語宗」、禅宗を「仏心宗」と呼びいい方もあります。

さて前置きが長くなりましたが、先述のようにこの禅宗が信じる「仏心」そのものは文字言句では伝えられない訳ですが、多くの祖師方はその伝えきれない心をなんとか伝えようと色々工夫されました。それが『臨濟録』や『無門関』といった語録に収録されている禅問答です。しかしそれらは専門的で難解な為、次回からは仏心を信じるとはどういことかについて、勉強していきたいと思えます。